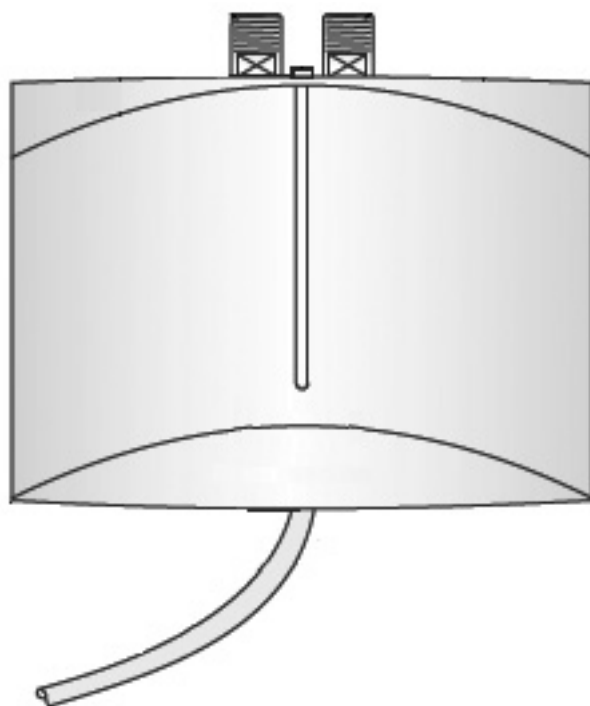


**STIEBEL ELTRON**

# 瞬間式電気温水器 取扱説明書

(取付説明書、保証書付)

型 名…… ●DHM-4



お買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

- ご使用前にP. 1「1. 安全上のご注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、必ず保証書とともにいつでも見ることができる場所に保管してください。

日本スティーベル株式会社

## [目次]

### ●取扱説明書

1. 安全上のご注意	1
2. 各部のなまえ	3
2-1. 各部のなまえ	3
2-2. DHM-4について	3
3. 運転のしかた	4
4. 日常の点検とお手入れ	5
5. 故障かな?と思ったら	6
6. 点検および修理について	7
7. 仕様	8

### ●取付説明書

1. 安全上のご注意	10
2. 各部のなまえと外形寸法	13
3. 部品の確認	14
4. 仕様	15
5. 機器の取付けかた	16
5-1. 事前準備	16
5-2. 機器の設置	17
5-3. 配管接続	18
5-4. 電気配線	19
6. 試運転	20
保証書	21




# 1. 安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の区分で表示しています。

 <b>警告</b> 誤った取扱いをしたときに、死亡、または重傷に結びつく可能性があるもの。	 <b>注意</b> 誤った取扱いをしたときに、傷害、または家屋・家財等の損害に結びつくもの。
---	--


■ 本文中に使われている図記号の意味は次のとおりです。


 <b>禁止マーク</b> してはいけないことを示します。
 <b>注意マーク</b> 注意することを示します。
 <b>指示マーク</b> 必ず行なうことを示します。

## 警告

### 禁止

 絶対に改造しないでください。

 濡れた手で機器に触れないでください。

 機器に水をかけないでください。また、機器が災害等により、濡れてしまった場合は、使用しないでください。


 給湯時は、配管や蛇口を触らないでください。


 機器の近くに、ガス類等の可燃性物質や爆発の恐れがある物質を保管したり、使用したりしないでください。


### 注意





 使い始めや、出湯時に瞬間的に熱湯が出る場合があります。

### 指示

 機器の専用ブレーカを「入」にするときは、必ず混合水栓のお湯側の水栓を開き、流れる水に空気が混じらない状態まで通水してください。

 水道工事などにより、水道水が濁っている場合は、機器が接続されていない他の水栓で十分に通水して、濁りが無いことを確認してから機器側の水栓を使用してください。

 機器に異常が発生した場合は、機器の専用ブレーカを「切」(OFF)にして日本スティーベル(株)に連絡してください。





-  アース工事、漏電遮断器設置工事が行なわれていることを確かめてください。
-  機器が簡単に壁から外れないことを確かめてください。
-  補強を行なっても震災、その他の天変地異で壁から外れる可能性があります。万が一壁から外れた場合は、下記の①～④を実施の上、日本スティーベル(株)にご連絡ください。
  - ①機器の電源ブレーカを「切」(OFF)にしてください。
  - ②落下物がある場合は取り除いてください。
  - ③建物が揺れている間は、機器に近づかないでください。
  - ④市水の元栓を止めてください。
-  子供や身体に障害がある人が機器を操作する場合は、監督者の管理のもと、または安全管理者による適切な指導を受けた上でご使用ください。

## 注意

---

---






### 禁止

-  機器に接続してある配管を外したりしないでください。
-  機器、および配管に乗ったり、物を掛けたりしないでください。
-  市水の元栓を止めた状態ではブレーカを「入」にしないでください。
-  飲用しないでください。

### 注意

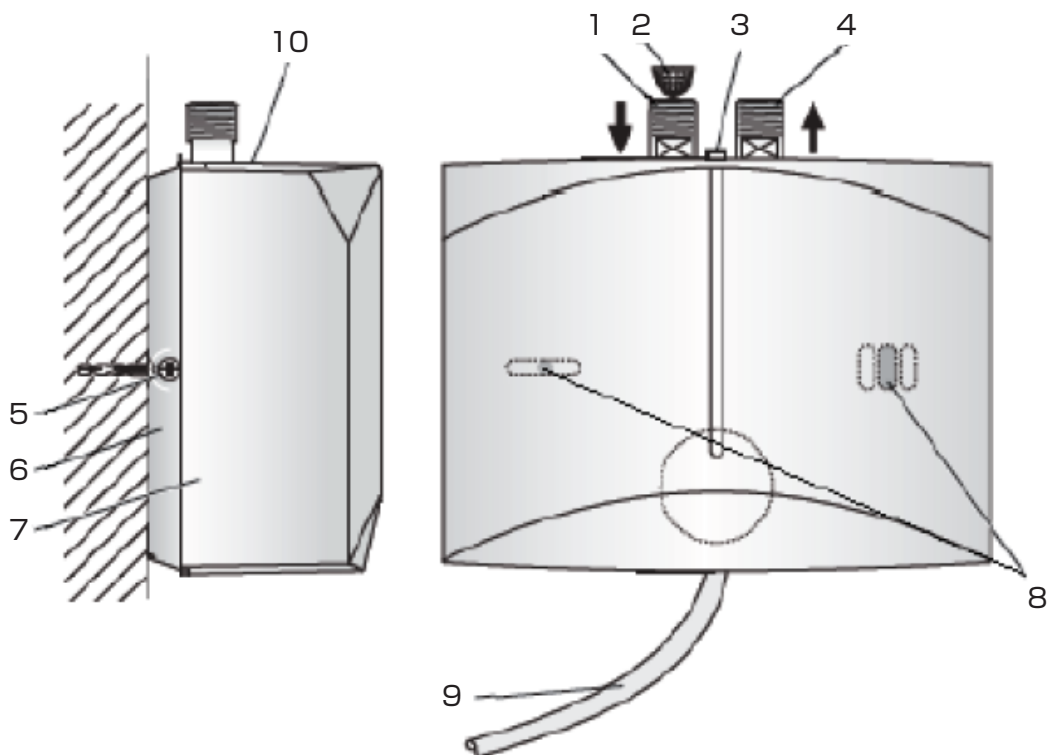
-  機器には操作部はありませんので、給湯温度のコントロールはできません。

### 指示

-  機器のブレーカの位置をお取扱い店に確認してください。
-  長期間機器を使用しない場合は、必ずブレーカを「切」(OFF)にして、配管の水抜きをしてください。
-  機器の所有者が変わる場合には、必ず本取扱説明書を新しい所有者に引き継ぎ、保管できるようにしてください。
-  機器の修理をご依頼の際は、必ず本取扱説明書に付属している保証書を修理業者にご提示ください。
-  機器の移設を行なう場合は、日本スティーベル(株)にご相談ください。

## 2. 各部のなまえ

### 2-1. 各部のなまえ



- |                    |                 |
|--------------------|-----------------|
| 1：給水配管接続口          | 6：背面パネル         |
| 2：ストレーナ            | 7：前面パネル         |
| 3：ヒーティングブロック用ストッパー | 8：壁固定ネジ穴        |
| 4：給湯配管接続口          | 9：電源ケーブル（750mm） |
| 5：前面パネル固定ネジ（左右各1本） | 10：銘板ラベル        |

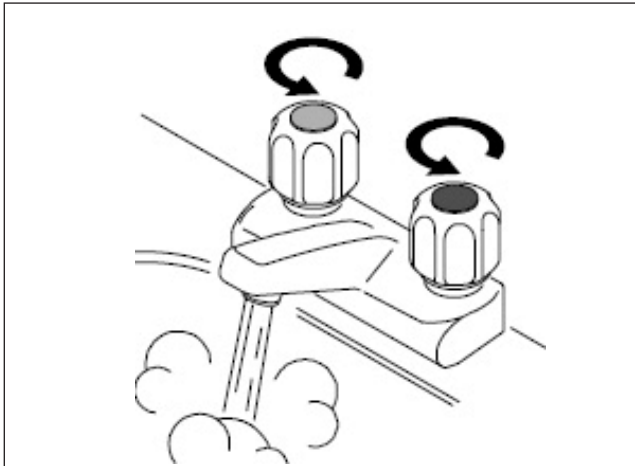
### 2-2. DHM-4について

DHM-4（以下、「機器」と表記）は個人住宅、集合住宅、商業施設などでご使用いただける小型瞬間式電気温水器です。

水栓を開けると自動的にヒーターに通電しお湯を出すため、必要な時に必要な量の温水を最低限の電力でご使用いただけます。貯湯タンクが無いため、貯湯水温度を維持する電力が不要な省電力機器です。

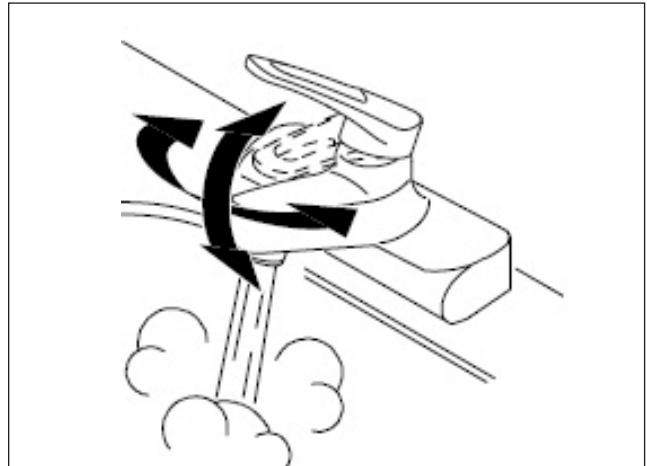
# 3. 運転のしかた

2ハンドル式水栓の場合



お湯を出す：水栓のお湯側だけを開ける。  
ぬるくする：水栓の水側も開ける。

シングルレバー式水栓の場合



お湯を出す：水栓のレバーをお湯側に回す。  
ぬるくする：水栓のレバーを水側に回す。

## (1) はじめてお使いになる場合

- ①市水の元栓を全開にして、水栓のお湯側を開きます。
- ②栓から空気のない水のみが出てくることを確認後、機器のブレーカを「入」(ON)にします。
- ③機器内の水がヒーターにより暖められ、水栓からお湯が出るようになります。

## (2) 通常お使いになる場合

- ①水栓のお湯側を開きます。
- ②機器内の水がヒーターにより暖められ、水栓からお湯が出るようになります。

## (3) 長期間使用しない場合

- ①機器のブレーカを「切」(OFF)にします。
- ②市水の元栓を全閉にして、水栓のお湯側を開きます。
- ③水栓から水が出なくなることを確認します。

## (4) 使用を再開する場合

- (1) はじめてお使いになる場合の手順に従い使用を再開します。

## 4. 日常の点検とお手入れ

---

### (1) 機器の清掃について

通常は乾いた布でふいてください。



○給湯を使用した直後等は、配管の温度が高くなっていますので、触らないでください。

### (2) 有料の定期点検について

機器を少しでも長くお使いいただくために3～4年に1度、有料の定期点検を行なってください。

有料の定期点検については、お取扱い店、または日本スティーベル(株)にご連絡ください。



○有料の定期点検は、機器が故障しないことを保証するものではありません。あくまでもその点検時に異常がないことを確認するものです。

○万が一部品の不具合等がある場合は、お客様に説明の上、有料にて該当部品を交換します。

## 5. 故障かな?と思ったら

現象	確認項目	処置内容	参照ページ
お湯が出ない	ブレーカ	ブレーカを「入」(ON)にしてください。	P. 4 3
	元栓	市水の元栓を全開にしてください。	————
	水道管	水道管が凍結していないことを確認してください。 凍結している場合は、水道工事業者にご連絡ください。	————
お湯の量が少ない	ストレーナ	ストレーナが詰まっている可能性があります。 日本スティーベル(株)にご連絡ください。	P. 7 6
お湯の温度が低い	混合水栓	お湯側のツマミを少し絞ってください。	P. 4 3
		水側のツマミ少しを閉じてください。	P. 4 3
	ヒーター容量	供給される水道水の温度が低い場合、機器の定格ヒーター容量では希望温度まで温められない場合があるため、故障ではありません。	————
漏水している	機器	機器から漏水している場合は、日本スティーベル(株)にご連絡ください。	P. 7 6
	配管	配管から漏水している場合は、お取扱い店にご相談ください。	————
濁ったお湯が出る	配管	水道工事等で濁りが出る場合があります。しばらく水を出し続けて改善しない場合は、日本スティーベル(株)にご連絡ください。	P. 7 6

上記で、改善しない場合は、再度ブレーカを「入/切」(ON / OFF) し状態が改善しないことを確認の上、日本スティーベル(株)にご連絡ください。



# 6. 点検及び修理について

## (1) アフターサービス(点検・修理)を依頼される場合

アフターサービスを依頼される前に、P. 6「5. 故障かな?と思ったら」をよくお読みの上、それでも不具合がある場合、あるいは不明な点がある場合は、ご自分で修理なさらないで、日本スティーベル(株)に電話でご連絡ください。

**TEL:044-540-3203**

平日 9:00~17:30 (土日祝日および特定休業日を除く)

アフターサービスを依頼される場合は、保証書をご覧の上、次の項目をお知らせください。

- ①機種名 : 銘板ラベルに併記
- ②製造番号 : 銘板ラベルに併記
- ③不具合の具体的内容 : お湯が出ないなどの症状、及びご使用条件
- ④お取付け年月日 :
- ⑤お名前、ご住所、電話番号 :

## (2) 補修用部品の最低保有期間について

この機器の補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後7年です。補修用部品とは、その機器の機能を維持するための部品です。

## (3) 保証について

この機器は、お取付け日から1年保証です。

保証書は、お取扱い店、または施工店からお渡しいたしますので、必ず「お取扱い店」、「お取付け日」、「製造番号」等の記入をお確かめになり、保証書の内容をよくお読みの上、保管してください。修理を依頼される場合、日本スティーベル(株)にご連絡ください。保証期間内であれば、保証書の記載に内容に基づき無料修理を行ないます。保証期間を過ぎても、修理により機器の機能が維持できる場合にはご要望により有料修理いたします。

### おねがい

- お客さまご自身で分解、改造した場合は、保証期間であっても無料修理の対象とはなりませんので、予めご了承ください。

# 7. 仕様

型 式	DHM-4
定格電源	単相200V 50Hz/60Hz
定格消費電力 (kW)	4.3
定格電流 (A)	21.5
漏電ブレーカ (A)	30
感度電流 (mA)	30
号数 ※	2.5 相当
給水方式	先止め
据付方式	壁掛け
外形寸法 W×H×D (mm)	190 × 165 × 82
質量 (kg)	1.4
給水温度 (°C)	0~35
給水側最大水圧 (bar)	10
最大流量 (ℓ / min)	4.3
最小流量 (ℓ / min)	2.6
保護等級	IP25

※号数とは、給水温度を+25°C温めたお湯を1分間に何リットル供給できるかを表示しています。

単位：(ℓ / 25Kmin)

# 瞬間式電気温水器 取付説明書

型 名……● DHM-4

## 取付工事店様へ



- この機器は、電気工事が必要となります。取付工事は必ず所定の資格を持った方が行なってください。
- この機器は、水道配管工事が必要となります。取付工事は必ず所定の資格を持った方が行ってください。
- この機器を正しく安全にお客様にご使用いただくために、取扱説明書、並びに取付説明書のP.10「1. 安全上のご注意」をよくお読みの上、取付説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
- 施工上の責任は当社では負いかねますので、万一施工に起因する不都合が生じた場合は、貴店の保証規定により修理していただくようお願い致します。

日本スティーベル株式会社




# 1. 安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の区分で表示しています。









 <b>警告</b> 誤った取扱いをしたときに、死亡、または重傷に結びつく可能性があるもの。	 <b>注意</b> 誤った取扱いをしたときに、傷害、または家屋・家財等の損害に結びつくもの。
--	---

■ 本文中に使われている図記号の意味は次のとおりです。

 <b>禁止マーク</b>	してはいけないことを示します。
 <b>注意マーク</b>	注意することを示します。
 <b>指示マーク</b>	必ず行なうことを示します。

## 警告

### 禁止

-  絶対に改造しないでください。
-  付属の電源ケーブル等、取外しの指定がない部品は取り外さないでください。また、指定されている付属部品以外は使用しないでください。
-  屋外や浴室等の湿気の多い場所には設置しないでください。
-  濡れた手で設置作業を行なわないでください。
-  機器の近くで、ガス類等の可燃性物質や爆発の恐れがある物質を保管したり、使用したりしないでください。
-  水質基準に適合した水道水以外を、絶対に機器に供給しないでください。
-  電源は、単相200V以外の電源を接続しないでください。
-  電気工事、及び配管工事は、資格を持った作業員以外には行なわないでください。

## ！ 指示

- ！ 漏電ブレーカの容量は、機器に適した容量のものを設置してください。
- ！ 機器に接続する電源ケーブルは、専用の漏電ブレーカから配線してください。
- ！ 電源電圧は、定格電圧の±10%以内がかかるようにしてください。
- ！ 電源ケーブルの端子台は、緩みがないように増締めしてください。
- ！ アースは第三種接地工事（D種接地）を行なってください。
- ！ 機器は下記の離隔を守って設置してください。

	前面	上面	下面	右面	左面
離隔距離	500mm	150mm	130mm	130mm	130mm

- ！ 機器は、設置地域の火災予防条例に則した離隔距離で設置してください。
- ！ 機器の異常を発見した場合は、お客様に引き渡さず、日本スティーベル(株)にご連絡ください。

## ！ 注意

### 禁止

- ！ 設置前の機器は、雨水のあたる場所に置かないでください。
- ！ 市水の元栓を止めた状態ではブレーカを「入」にしないでください。
- ！ 給水、給湯配管は鳥居配管しないでください。

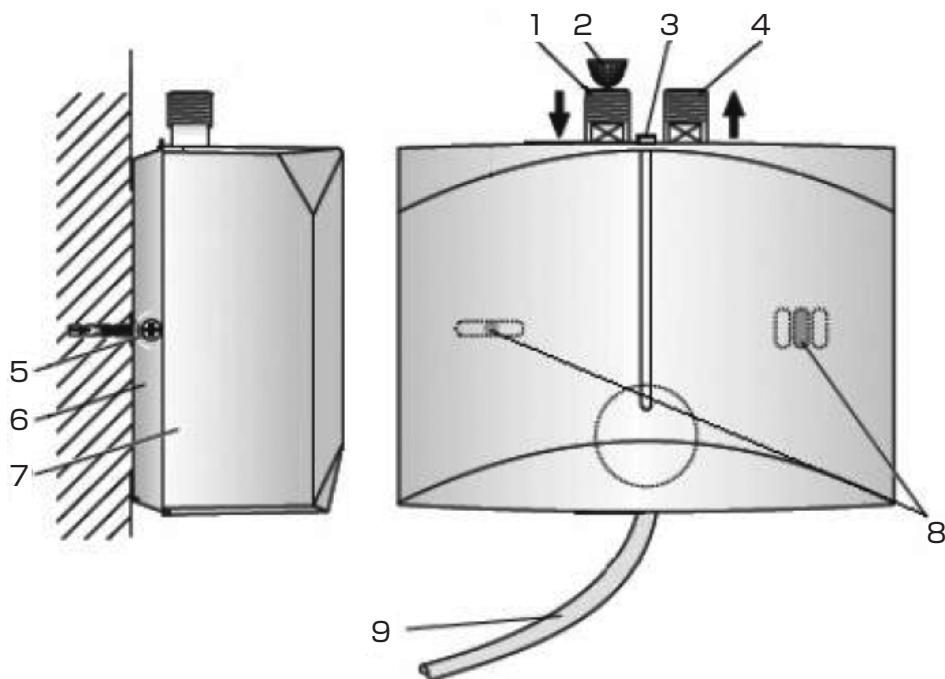
### 注意

- ！ 感電事故防止のため、給水配管は機器の近傍の一部に絶縁管を使用して、水道本管と機器アース間の縁切りをしてください。
- ！ 給水／給湯接続口に衝撃を加えないようにしてください。
- ！ 給湯配管距離を長くとると、放熱により混合水栓の吐水温度が下がることがあります。

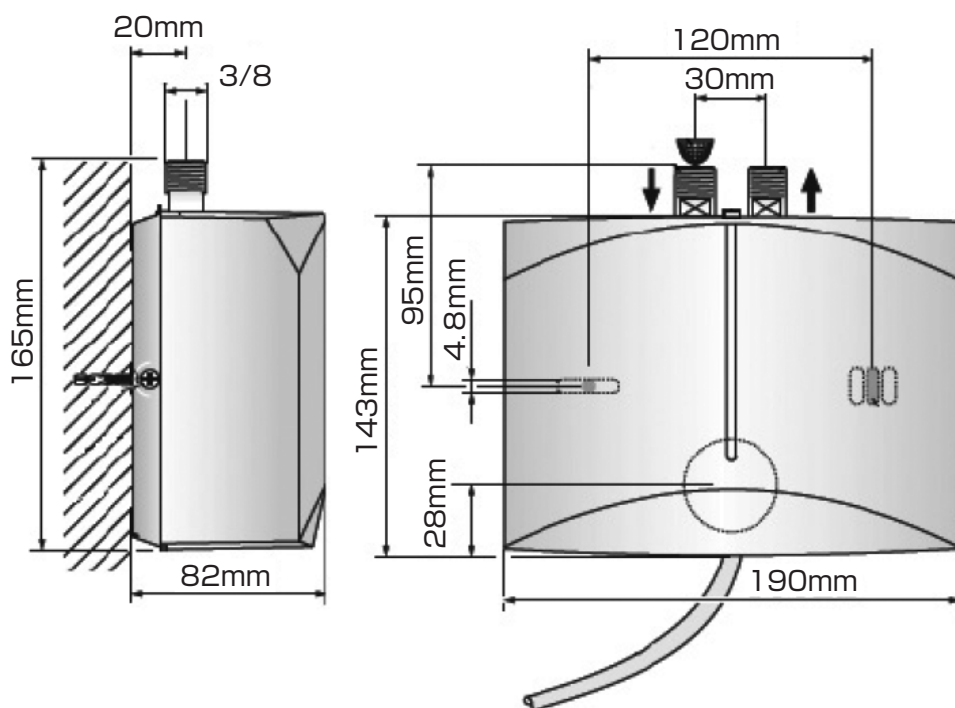
## ！ 指示

- ！ 機器を設置する場所の床面は耐水処理を施してください。
- ！ 機器を壁に固定するネジは、現場の壁の仕様に合わせたネジを準備して使用してください。
- ！ 機器は、機器の質量に耐えられる補強を行なった壁に設置してください。
- ！ 給水／給湯接続口を上部に向けて、壁に対して平行に設置してください。
- ！ 機器に接続する電源ケーブルの太さは、内線規程に従った太さのケーブルを配線してください。
- ！ 給水配管経路には、市水の元栓を設置し給水圧が10barを超えないよう減圧弁を設置してください。
- ！ 機器の給水／給湯管接続口は、シールテープではなく、パッキンを挟んでユニオン継手で給水／給湯配管と接続してください。
- ！ 給水温度は、必ず0～35℃の範囲になるようにしてください。
- ！ 凍結する恐れのある配管等は、凍結防止用ヒーターを使用する、保温材を巻く等の処理を行なってください。
- ！ 水道工事などにより、水道水が濁っている場合は、機器が接続されていない水栓で十分に通水して、濁りが無いことを確認してから機器側の水栓を使用してください。
- ！ 取扱説明書の保証書に、お客様、お取扱い店、お取付け日、製造番号等の必要事項を記入し、お取扱い店、及び取扱者印を捺印してください。
- ！ 工事終了後は、必ずお客様に取扱いの説明を行なってください。直接説明できない場合は、現場責任者等代行者に説明し、必ずお客様に取扱いの説明がなされるようにしてください。
- ！ 取扱説明書をお客様に必ず保管していただくようにお渡しください。

## 2. 各部のなまえと外形寸法


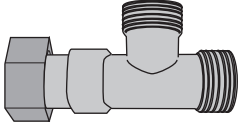

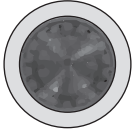
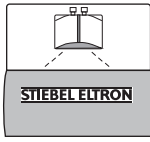


- |                    |                 |
|--------------------|-----------------|
| 1：給水配管接続口          | 6：背面パネル         |
| 2：ストレーナ            | 7：前面パネル         |
| 3：ヒーティングブロック用ストッパー | 8：壁固定ネジ穴        |
| 4：給湯配管接続口          | 9：電源ケーブル（750mm） |
| 5：前面パネル固定ネジ（左右各1本） |                 |



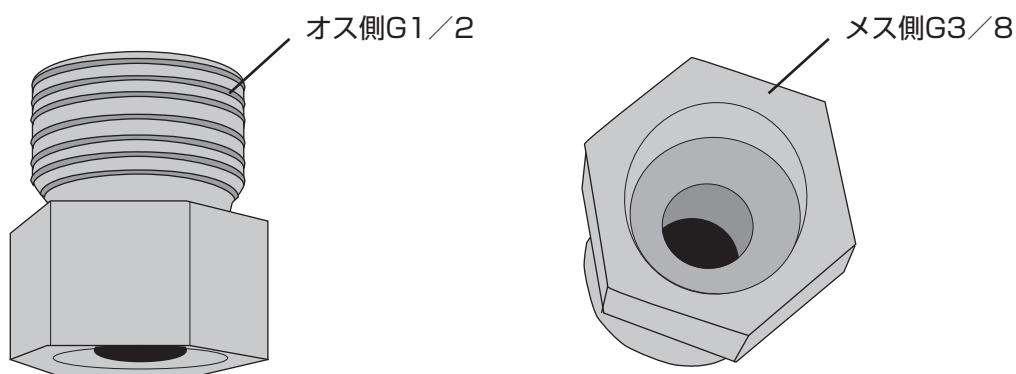
# 3. 部品の確認

## (1) 付属部品一覧

部品名称	付属数量	部品図	備考
袋ナット付き接続ホース	1		接続口：G3/8 長さ：500mm
チーズ	1		接続口：G3/8
パッキン	1		14.5 × 7.5 × 1.5 mm
ジェットレギュレーター	1		泡沫水栓（外ネジ 24mm用） に使用できます。
スティーベルロゴシール	1		貼替え用（予備）

## (2) オプション部品

DHM-4 3/8-1/2変換アダプター（以下、「変換アダプター」と表記）



部品番号:63035001 給水／給湯接続口片側1個のみ（パッキンが1枚）

部品番号:63035002 給水／給湯接続口両側2個セット（パッキンが2枚）



## 4. 仕様

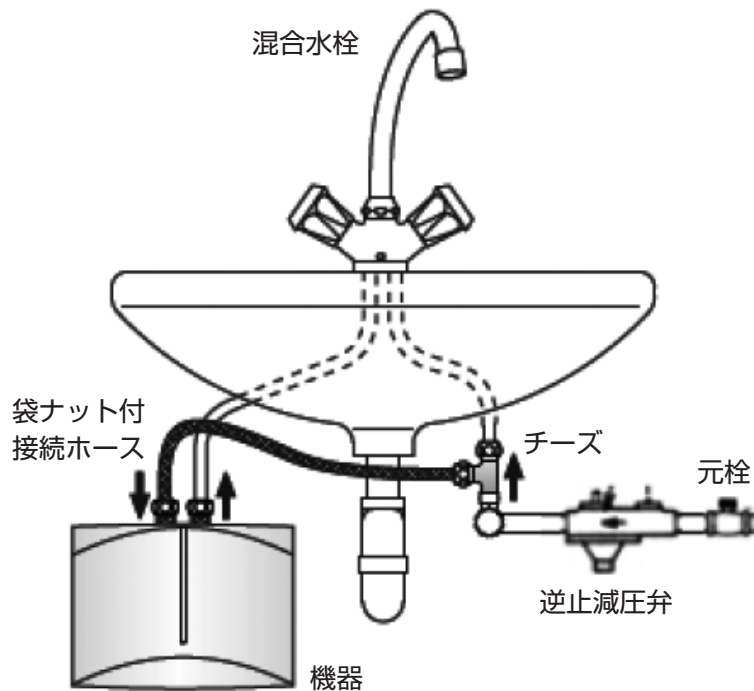
型 式	DHM-4
定格電源	単相200V 50Hz/60Hz
定格消費電力 (kW)	4.3
定格電流 (A)	21.5
漏電ブレーカ (A)	30
感度電流 (mA)	30
号数 ※	2.5 相当
給水方式	先止め
据付方式	壁掛け
外形寸法 W×H×D (mm)	190 × 165 × 82
質量 (kg)	1.4
給水温度 (°C)	0~35
給水側最大水圧 (bar)	10
最大流量 (ℓ / min)	4.3
最小流量 (ℓ / min)	2.6
保護等級	IP25

※号数とは、給水温度を+25°C温めたお湯を1分間に何リットル供給できるかを表示しています。

単位：(ℓ / 25Kmin)

# 5. 機器の取付かた

## 5-1. 事前準備



### 5-1-1. 壁下地

①機器の固定位置に、機器の質量に耐えることができる補強を入れます。

### 5-1-2. 配管

①水栓へ接続する水道配管、及び機器と水栓間の給湯配管を配管します。

②水道配管の上流には元栓、逆止減圧弁を設けて、その2次側から給水配管接続口の配管を準備します。

③水道配管の上流には必ず絶縁配管を接続し、機器のアースと水道本管間の縁を切ります。



### MEMO

○機器は、貯湯タンクが無いので逃し弁は不要です。

### 5-1-3. 配線

①30Aの漏電ブレーカから機器に接続するための電源ケーブル(2.6mm、または2mm<sup>2</sup>の電源ケーブルと1.6mm以上のアース線)を設置しておきます。

②①の電源ケーブルは機器の周辺にジョイントボックスを設けて、その中で機器の電源ケーブルと接続できるようにします。

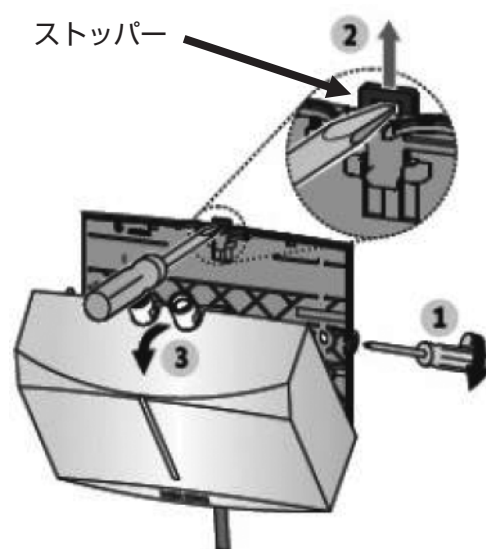
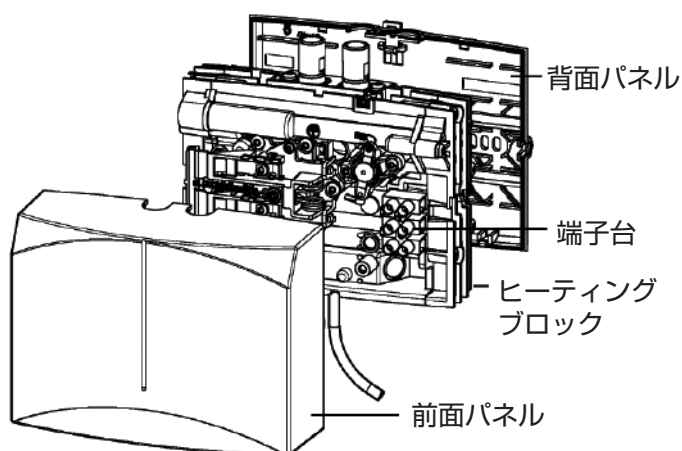
## 5-2. 機器の設置

### 5-2-1. 機器を開ける

- ①プラスドライバーで機器両側面のネジ各1本を外します。
- ②マイナスドライバーで、ヒーティングブロック用ストッパーを押し上げます。
- ③②の状態ですべてのネジを外し、前面パネルとヒーティングブロックを同時に外します。

#### MEMO

- ①の作業後に、前面パネルのみを外すことができます。

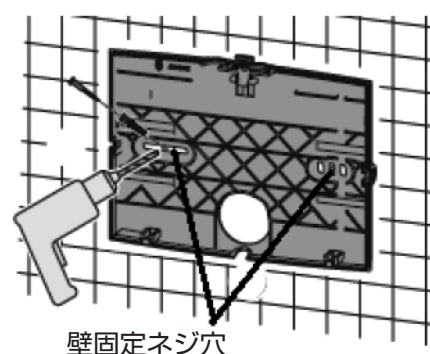


### 5-2-2. 背面パネルの壁固定

- ①下地、及び壁の構造に適した長さのφ4ネジ2本を用意します。
- ②背面パネルは傾きが無いように、床に対して水平に壁に固定します。

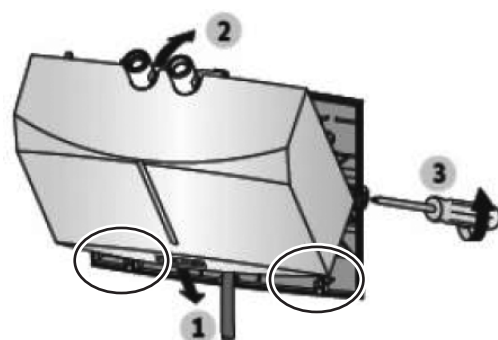
#### MEMO

- コンクリートの壁等には、カールプラグを用いて確実に固定してください。



### 5-2-3. 機器を閉じる

- ①前面パネルとヒーティングブロックの下部を、背面パネル下部の○で囲んだ部分に引掛けます。
- ②前面パネルとヒーティングブロックをストッパーに引掛けます。
- ③前面パネルの両側面2ヶ所をネジ止めして固定します。

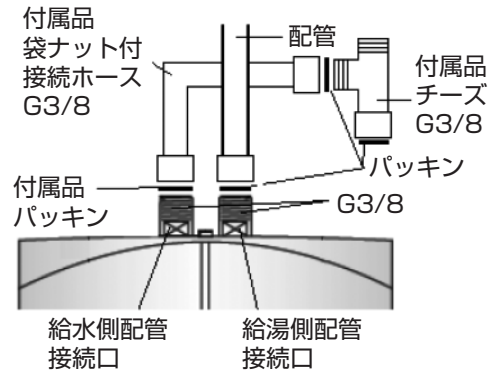


## 5-3. 配管接続

- ①正面から見て左上側が給水配管接続口、右上側が給湯配管接続口になります。
- ②給水配管接続口に付属のストレーナを付けます。

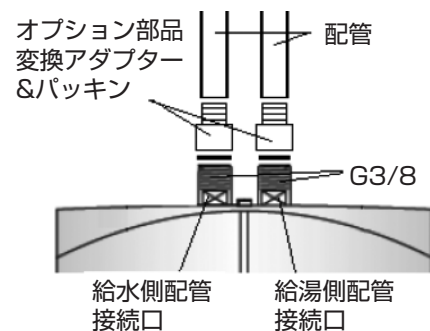
### 5-3-1. 付属品のみで配管接続する場合

- ①給水配管接続口は付属のパッキンを介して、付属品の「袋ナット付接続ホース」を接続します。
- ②付属品の「袋ナット付接続ホース」は現地調達の3/8の配管対応のパッキンを介して、付属品の「チーズ」の中央に接続します。
- ③付属品の「チーズ」の袋ナット側は、現地調達の3/8の配管対応のパッキンを介して、水道管に接続します。
- ④付属品の「チーズ」の袋ナットと反対側は、水栓の給水側配管と接続します。
- ⑤給湯配管接続口は現地調達の3/8の配管対応のパッキンを介して、現地調達の3/8の給湯側配管と接続します。



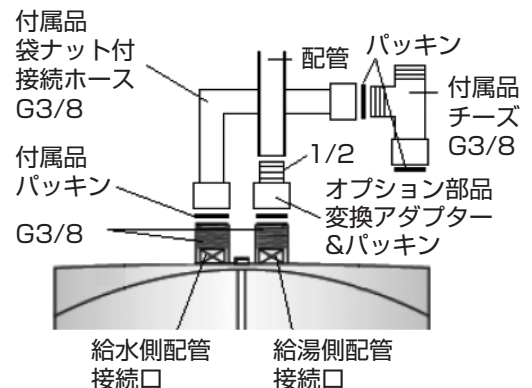
### 5-3-2. オプション部品の「変換アダプター」を2個使用する場合

- ①給水配管接続口は「変換アダプター」付属のパッキンを介して、「変換アダプター」に接続します。
- ②給湯配管接続口は「変換アダプター」付属のパッキンを介して、「変換アダプター」に接続します。
- ③「変換アダプター」の1/2側ネジにシールテープを巻き、給水、または給湯配管に接続します。



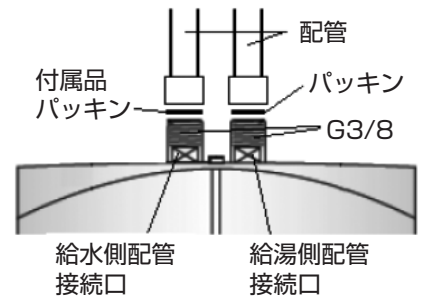
### 5-3-3. 付属品とオプション部品の「変換アダプター」を1個併用する場合

- ①給水配管接続口は付属のパッキンを介して、付属品の「袋ナット付接続ホース」を接続します。
- ②付属品の「袋ナット付接続ホース」は現地調達の3/8の配管対応のパッキンを介して、付属品の「チーズ」の中央に接続します。
- ③付属品の「チーズ」の袋ナット側は、現地調達の3/8の配管対応のパッキンを介して、水道管に接続します。
- ④付属品の「チーズ」の袋ナットと反対側は、水栓の給水側配管と接続します。
- ⑤給湯配管接続口は「変換アダプター」付属のパッキンを介して、「変換アダプター」に接続します。
- ⑥「変換アダプター」の1/2側ネジにシールテープを巻き、給水、または給湯配管に接続します。



### 5-3-4. 付属品やオプション部品を使用しない場合

- ①給水配管接続口は付属のパッキンを介して、現地調達  
の3/8の給水配管と接続します。
- ②給湯配管接続口は現地調達  
の3/8の配管対応のパッキンを介して、現地  
調達の3/8の給湯側配管と接続します。



#### MEMO

- 現地で用意していただいた部品が起因となる不具合は、その部品メーカーに確認をしてください。

### 5-3-5. 作業終了後の確認

- 全ての配管接続部分で、水漏れ等がないことを確認します。

## 5-4. 電気配線

電気配線は内線規程に従って実施してください。

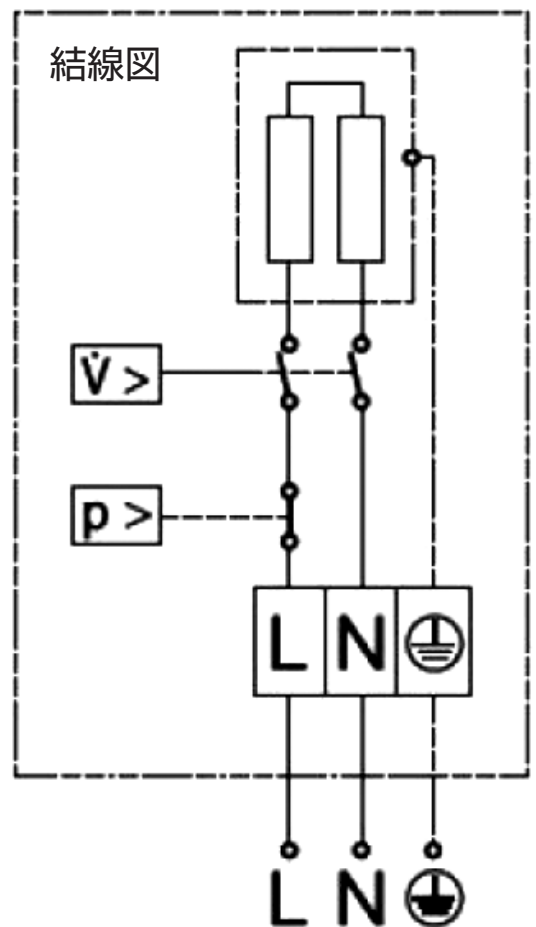
- ①屋内配線と機器の電源ケーブルは、ジョイントボックス  
内で直結接続し、屋内に露出しないようにします。
- ②機器のアース線を屋内のアース線に直結接続します。

- L : 茶色ケーブル
- N : 青色ケーブル
- P : 圧力スイッチ
- V : フロースイッチ

#### MEMO

- 付属の電源ケーブル(750mm)は、屋内配線との接続に  
必要最低限の長さに切断してから屋内配線と接続します。

2/PE ~200V



# 6. 試運転

下記の手順で試運転を行ないます。

## (1) 配管の接続確認

- ①元栓を全開にして、混合水栓のお湯側を開き、混合水栓から空気が完全に排出されるまで通水します。
- ②配管や機器から水が漏れていないことを確認します。
- ③機器の離隔 (P.10「1. 安全上のご注意」参照) が守られていることを確認します。

## (2) 通電試験

- ①機器の前面パネルを (P.17「5-2. 機器の設置」参照) を外し、絶縁抵抗計で機器の絶縁抵抗が1MΩ以上であることを確認します。
  - i) 端子台「L」-「GND」間
  - ii) 端子台「N」-「GND」間
- ②漏電ブレーカのテストボタンを押して、漏電ブレーカが正常に作動することを確認します。
- ③専用ブレーカを「入」(ON) にします。
- ④機器に200Vの電源が、端子台「L」-「N」、間に200Vが供給されていることを確認します。
- ⑤電流値が正常であることを確認します。

ヒーター容量：4.3kW      電流値：21.5A (±10%)

## (3) 最終確認

- ①混合水栓のお湯側からお湯が出ることを確認します。
- ②使用中も配管や機器から水が漏れていないことを確認します。
- ③ (4) 項の試運転記録を記入します。

## (4) 試運転記録

検査会社名				
検査担当者名				
設置機種		DHM-4		
項目		確認内容	合否	参照
(1) ③	離隔	離隔が守られていること		P. 11 1
(2) ①	絶縁抵抗	1MΩ以上あること		P. 20 6
(2) ②	ブレーカ	漏電ブレーカが正常に作動すること		—————
(2) ④	電源電圧	200Vが掛かっていること		P. 17 5-2
(2) ⑤	電流値	電流値が正常であること		P. 20 6
(3) ②	水漏れ	水漏れがないこと		P. 18 5-3
(3) ①	混合水栓	正常に動作すること		—————
備考				



# 保証書

本書は、下記〈無料修理規定〉に基づいて下記品番の機器の無料修理を行なうことをお約束するものです。当該機器以外の機器類は、修理の対象といたしません。お取付け日から1年以内に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、日本スティーベル(株)に修理をご依頼ください。

お客様	フリガナ		様	品番	DHM-4	
	お名前					
お取扱い店	社名	印	取扱者	製造番号	- -	
	〒		印			
	住所					
	電話 ( )	-		保証期間	製品	お取付け日から1年
お取付け日	年	月	日			

機器はお取付け日から1ヶ年保証です。

## ★お客様へ

この保証書をお受け取りになるときは、お取付け年月日、お取扱い店名、製造番号の記載、並びに取扱者印の捺印があることを確認してください。保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。この保証書は、本書に明示した期間、次の条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

(無料修理規定)

- お引渡しの仕様条件で取扱説明書、機器に貼られているラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、表記期間無料修理致します。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、日本スティーベル(株)にご依頼の上、修理をお受けになる時に本書をご提示ください。  
「お取付け日」の記載が無い場合、日本スティーベルの出荷記録に基づいて、出荷日を「お取付け日」として起算します。
- ご転居等、お取付け場所を移動する場合は、予め日本スティーベル(株)にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合は有料修理となります。
  - 修理、または交換を必要とする不具合部品を交換せずに継続して使用した場合。
  - 使用上の不注意、過失による不具合、及び不当な修理や改造による故障や損傷の場合。
  - お取付け後の移設、及び取付説明書に基づいたお取付けがなされていなかったことに起因する故障、及び損傷の場合。
  - 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、公害、腐食性ガス害等の有害ガス、塩害、異常電圧、ねずみ、鳥、くも、昆虫類の侵入、及びその他の外部要因による故障、及び損傷の場合。
  - 指定外の電源(電圧・周波数)で使用した場合の故障や損傷。
  - 一般の建物以外(例えば車輛・船舶・粉塵やガスの浮遊する施設)等で使用された場合の故障や損傷。
  - 砂、さび、ごみ、及びほこり等による不具合、故障、損傷があった場合。
  - 本書の提示が無い場合、お客様名、お取扱い店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
- 以下の場合に生じた費用、及び代金は、本書による無料保証の対象にはなりません。
  - 理由の如何を問わず、機器設置後に、不適切な設定により増加した電気代。
  - 機器を設置したことによって生じた使用場所とその周辺の変色、変形、異音等の補修費用。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

**STIEBEL ELTRON** 日本スティーベル株式会社

**STIEBEL ELTRON** 日本スティーベル株式会社

**TEL:044-540-3203**

平日 9:00~17:30 (土日祝日および特定休業日を除く)

〒212-0013 神奈川県川崎市幸区堀川町66-2 興和川崎西口ビル8F

ホームページ <http://www.nihonstiebel.co.jp>

■製造者

スティーベルエルトロン

所在地、電話番号は変更になることがありますので、予めご了承ください。

本書は環境保護のためリサイクルペーパーを利用しております。

商品コード  
63998018

T4110804  
20170113B